

# カリキュラム・マネジメントの 手引き（令和3・4年度版）

大阪府教育庁市町村教育室  
小中学校課

## <はじめに>

学習指導要領の確実な実施のためには、各学校においてカリキュラム・マネジメントが適切に実現されていることが欠かせません。そのため、大阪府教育庁として、令和3年度からの2年間で「カリキュラム・マネジメント調査研究事業」として、カリキュラム・マネジメントの実現のために重視すべき観点ごとに項目を立て、調査研究校において実践研究を進めていただきました。

この度、その事例や参考資料等を手引きとしてとりまとめました。教職員がカリキュラム・マネジメントの意義を理解し、その効果を実感しながら、学校全体で組織的に取り組みを進めることができるよう、各校の実態に応じてご活用ください。

### <令和3・4年度 カリキュラム・マネジメント調査研究実践校>

- 四條畷市立忍ヶ丘小学校    ○富田林市立小金台小学校
- 忠岡町立東忠岡小学校    ○田尻町立中学校

# もくじ



©2014 大阪府もずやん

## 第1章 カリキュラム・マネジメントを知ろう

- カリキュラム・マネジメント Yes/Noチャート
- カリキュラム・マネジメントあるある ←New!
- “カリキュラム・マネジメント”って何だろう？
- カリキュラム・マネジメント Q&A インデックス ←追加しました

## 第2章 カリキュラム・マネジメントの実現に向けた実践事例とその工夫について

カリキュラム・マネジメントの3つの側面を通して、教育活動の質の向上を図ろう（令和3・4年度調査研究校ver.） ←New!

(1)教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていく事例

「小中一貫校の9年間を見通したカリキュラム・マネジメント」

富田林市立小金台小学校

(2)教育課程の実施状況を評価してその改善を図る事例（PDCAサイクルの構築）

「各教科で汎用的に活用できる書く力の育成」

四條畷市立忍ヶ丘小学校

「根拠をもって自分の考えを表現できる児童の育成

～教職員がつながり、児童がつながり、家庭とつながり、地域とつながる～」

忠岡町立東忠岡小学校

(3)教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制の確保とともにその改善を図る事例

「SDGs TO TAJIRI 学校×地域・役場連携」

田尻町立中学校

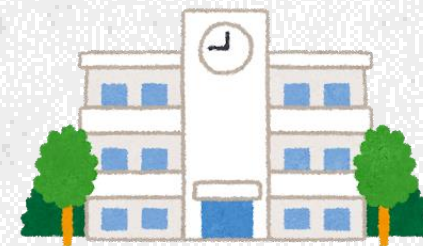
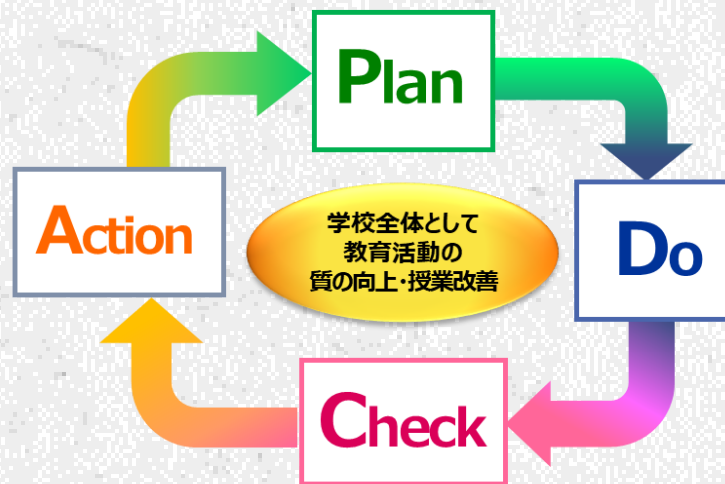
## 第3章 カリキュラム・マネジメントの実現のための参考資料集 ←追加しました

# 第1章 カリキュラム・マネジメントを知ろう

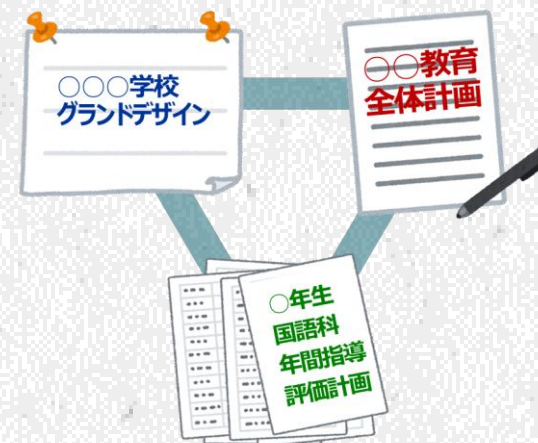
カリキュラム・マネジメントを学校全体で組織的に進めるためには、まず、カリキュラム・マネジメントの根拠や意義を理解しておく必要があります。第1章の「Yes/No チャート」や「Q&A インデックス」を活用しながら、学校やご自身にとって課題となっていること、必要としていることを明確にしてみましょう。

下表に示した学習指導要領解説総則編の該当箇所もあわせて読み進めると、より理解が深まります。

学習指導要領 第1章 総則 該当箇所	
第1の4	カリキュラム・マネジメントの充実
第2の1	各学校の教育目標と教育課程の編成
第2の2	教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成
第5の1	教育課程の改善と学習評価等
第5の2	家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携



©2014  
大阪府もずやん



# カリキュラム・マネジメント Yes/No チャート

この「カリキュラム・マネジメントの手引き」を読み進めていくにあたり、あなたが必要な情報にいち早くたどり着くためのチャートです。

あなたはどのタイプでしょうか。  
矢印に沿って進んでみましょう！



©2014 大阪府もずやん

(凡例) **Y** → …YES

**N** → …NO

## START

カリキュラム・マネジメントの  
基本的なことから知りたい



第1章  
「“カリキュラム・マネジメント”  
って何だろう？」へ



カリキュラム・マネジメントの実現  
をめざしてはいるものの、具体的に  
何か課題が明確になっていない



第1章  
「カリキュラム・マネジメント  
Q&A インデックス」へ



各校におけるカリキュラム・マネジメントの  
実現に向けた学校の取組みの  
様子が知りたい



教科等横断的な学習について  
学校全体で進めていきたい



第2章(1)  
「教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を  
教科等横断的な視点で組み立てていく事例」へ



PDCAサイクルによって  
教育課程の実施状況を評価  
してその改善を図りたい



第2章(2)  
「教育課程の実施  
状況を評価してその  
改善を図る事例  
(PDCAサイクルの  
構築)」へ



地域人材や資源など  
を活用して  
カリキュラム・マネジメント  
の実現をめざしたい



第2章(3)  
「人的又は物的な  
体制の確保とその  
改善を図る事例」へ

カリキュラム・マネジメントの実現  
に向けて、すぐに使える資料がほしい



第3章  
「カリキュラム・マネジメントの  
ための参考資料集」へ

# カリキュラム・マネジメント あるある

R4大阪府カリキュラム・マネジメントWebフォーラム  
(大阪教育大学 田村知子教授 作成資料を参考に作成)

カリキュラム・マネジメントを  
しなければならない

ではなく..

こんな成長や課題がある！

だから

子どもに〇〇の力をつけたい  
子どもに〇〇な学習経験をさせたい

〇〇な授業／行事をしたい

カリキュラム・マネジメントをしよう！

カリキュラム・マネジメントは手段で  
あり、課題解決の営みです

カリキュラム・マネジメントって  
「カリマネ表」を作ることですよね

カリキュラム・マネジメントを始めようと思うけど..  
こんなこと、ありませんか??

カリキュラム・マネジメントは  
難しそう...わからない...

実は、すでに経験済み！！

令和2年度の  
コロナ禍での取組みは  
まさにカリキュラム・マネジメント！

単元配列表は「見える化」や  
コミュニケーションツール  
(手段)として有効ですが、

手段の目的化や形骸化も  
起こりがち...

カリキュラム・マネジメントは、

子どもの学びを  
マネジメントすること！

Good!

▲会議室に常時掲示しているので、  
いつでも気付いた時に、つなかりを  
記入できます(四條畷市立忍ヶ丘小)

令和2年度、振り返ってみると...

子どもの実態把握 育成する資質・能力の再確認  
年間の授業日数確保 単元指導時期の入れ替え  
授業時数確保(時間割の工夫など)

学年間の系統性の確認 各教科等の間に関連性の確認  
学校の授業で行う学習指導と家庭で行う学習指導の整理

学校行事の見直し、工夫  
ICT活用のための物的環境整備、研修、指導計画  
人的支援の活用(加配教員、学習支援員、その他の業務補助)  
物的資源の調達・活用(生徒数分の実験器具、打楽器、広い会場...)

この子どもたちに必要なことは?  
この学習活動、学校行事の意義は?  
今、できることは?  
どうやったら効率的・効果的にできる?

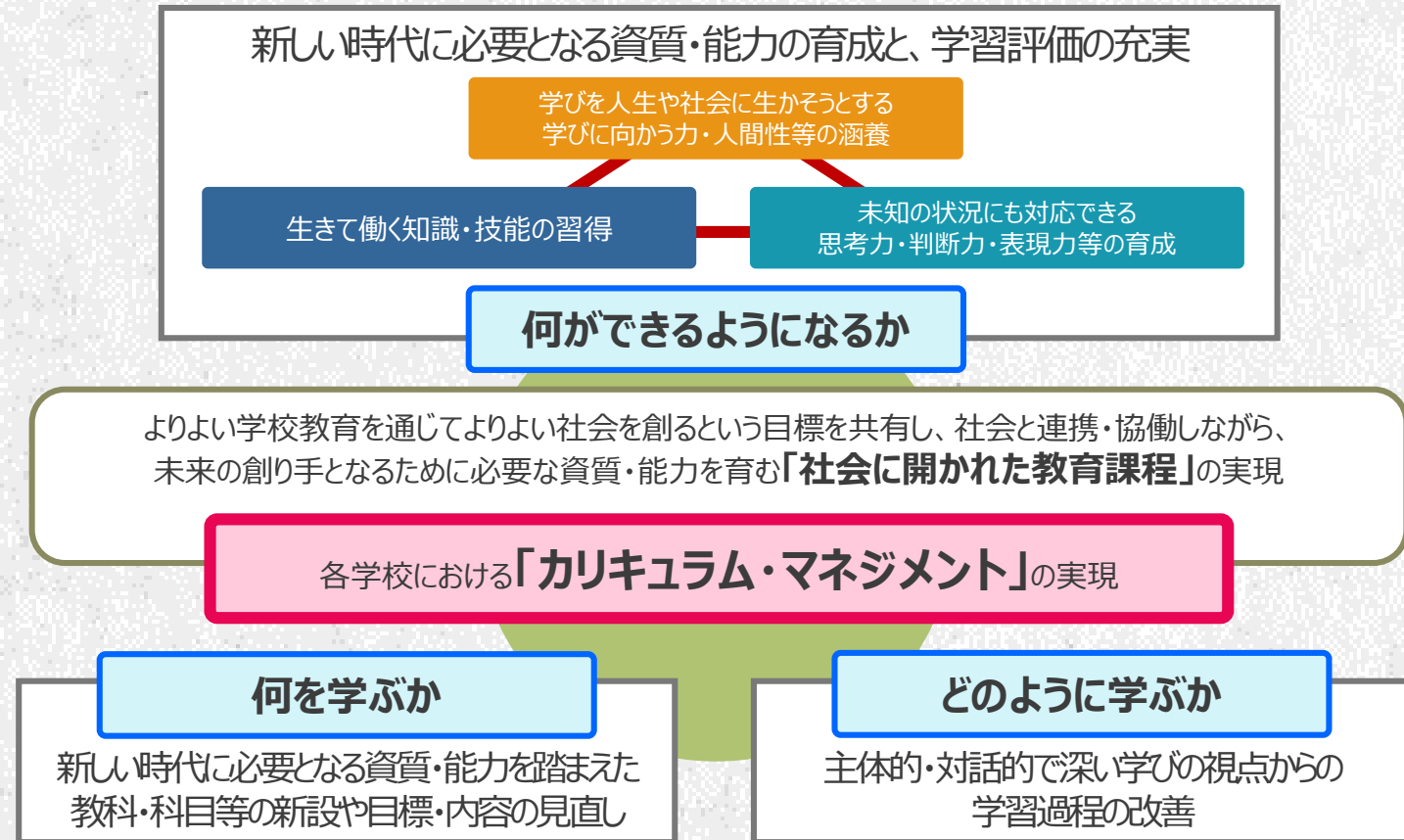
...と問いながら、  
ひとりの教員として、  
学校全体として行った工夫はまさに  
カリキュラム・マネジメント

目的を一層明確にして、条件を  
勘案して、教育課程を工夫して  
再設計したのでは?

# “カリキュラム・マネジメント” って何だろう？

(小学校学習指導要領 第1章 総則 第1の4)

4 各学校においては、児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（以下「カリキュラム・マネジメント」という。）に努めるものとする。



# 「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面

児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握しておくことが大切

- ①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

これらの「3つの側面」を手だてとしながら、  
**教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことが重要**

**POINT**

- (1) 「学校の教育目標」と「教育課程」はつながっているか
- (2) 「教育課程」と「授業」はつながっているか
- (3) 「学校の教育目標」、「教育課程」、「授業」は、児童生徒、地域、学校の実態に応じたものになっているか  
・目標や内容等は妥当か ・人的・物的体制に無理はないか

学校の教育目標

教育課程

教育活動（授業、行事等）

それぞれのつながりを意識して、俯瞰的に捉えることが大切です



©2014  
大阪府もずやん



「木を見て、森を見ず」  
になっていませんか？



# POINT (1) 「学校の教育目標」と「教育課程」はつながっているか ～「学校の教育目標」と「教育課程」をつなぐ～

小学校学習指導要領解説 「各学校の教育目標と教育課程の編成」

…各学校において教育目標を設定する際には、次のような点を踏まえることが重要となる。

- (1) 法律及び学習指導要領に定められた目的や目標を前提とするものであること。
- (2) 教育委員会の規則、方針等に従っていること。
- (3) 学校として育成を目指す資質・能力が明確であること。
- (4) 学校や地域の実態等に即したものであること。
- (5) 教育的価値が高く、継続的な実践が可能なものであること。
- (6) 評価が可能な具体性を有すること。

学校の教育目標と教育課程をつなぐことについては、「各学校の教育目標と教育課程の編成」として学習指導要領解説にこのように示されている。

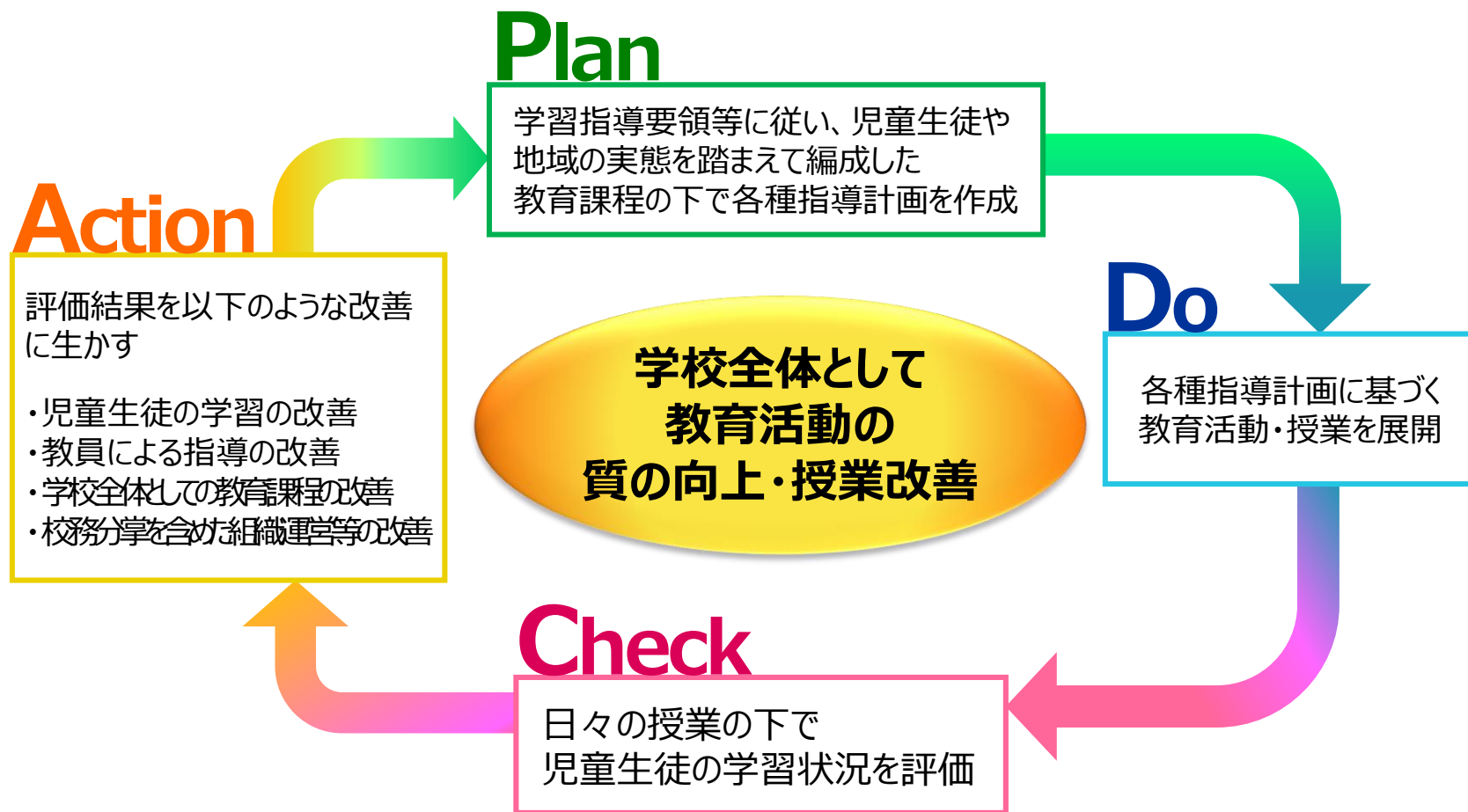
仮に自校の教育目標を問い直す際には、例えば、次のような観点が考えられる。

- ア 自校の児童生徒、地域の実態に即し、自校の児童生徒や教員にとって必要感のある教育的な価値を有するものになっているか
- イ 育成をめざす資質・能力が明確であり、評価可能な具体性を有したものとなっているか
- ウ 学校の教育目標のめざすところや、その実現に向けた手だてが教職員間で共有され継続的に実施できる持続可能性を伴ったものとなっているか

例：学校のランドデザインや学校経営方針、教育課程編成の方針等

令和2年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 総則部会 配付資料をもとに作成

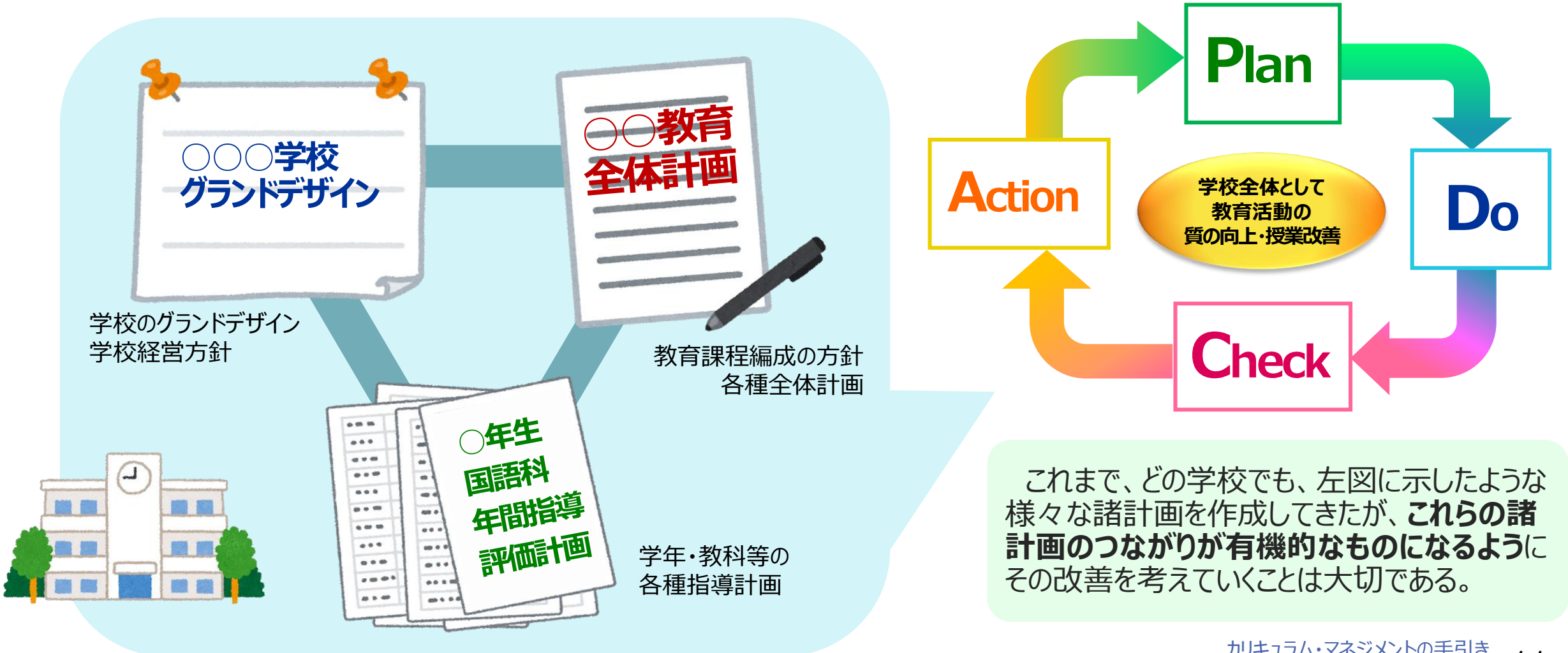
# POINT (2) 「教育課程」と「授業」はつながっているか ～「教育課程」と「教育活動（授業）」をつなぐ～



Actionにある「教員による指導の改善」とは、すなわち、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」のことである。

このことから、カリキュラム・マネジメントと主体的・対話的で深い学びはともに重なり合っているといえる。

# POINT (2) 「教育課程」と「授業」はつながっているか ～ 「諸計画のつながり」を改善する～



# POINT (3) 「学校の教育目標」、「教育課程」、「授業」は、 児童生徒、地域、学校の実態に応じたものになっているか ～学校評価との関連を図り、改善の切り口や重点を精査する～

小学校学習指導要領 第1章 総則

第5 学校運営上の留意事項

1 教育課程の改善と学校評価等

ア ...各学校が行う学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう留意するものとする。

小学校学習指導要領 解説 総則編 第3章 第5節 1. ①

カリキュラム・マネジメントは、本解説第3章第1節の4において示すように、学校教育に関わる様々な取組を、教育課程を中心に据えて組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくものである。

学校教育法

第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講じることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

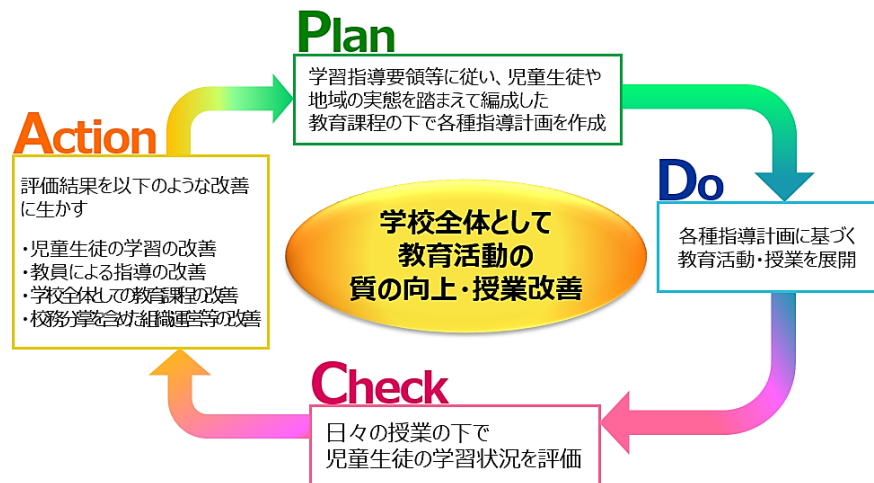
令和2年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 総則部会 配付資料をもとに作成

# カリキュラム・マネジメントの実現に向けた年間スケジュール例を作成

令和3年度の夏休みの期間を使って、各調査研究校が年間のスケジュールを一覧にまとめ、どの時期に、誰を対象にどのような取組みをし、それが後のどんな取組みにつながっているのかを見える化した。

PDCAサイクルの中で、どの部分にあたるのかが明確になり、これまでの取組みで何が効果的で、どんなところに課題があったのかを見える化でき、各調査研究校の後半の取組みの改善につながった。また、令和3年度末には、取組みをふり返り、成果と課題についてまとめ、各校の令和4年度の取組みの計画に生かした。

このスケジュール例を作るにあたっては、作成すること自体が目的とならないように気をつけた。ここまで細かく表にまとめるには相当の時間はかかったものの、一度整理をして、年間の取組みを俯瞰的に見ることで、「PDCAサイクルのCやAにかかる時間等をより効果的に生み出すにはどうすればよいか（忠岡町立東忠岡小学校の2.（1）参照）」など、カリキュラム・マネジメントを進めていく上でのポイントが浮かび上がるなどの効果はあったと考える。



各校の年間スケジュール例は二次元コードよりダウンロードできます

1. 「カリキュラム・マネジメントの実現に向けた年間スケジュール例」（予定も含む）について

月	No.	内容	対象	PDCA	成果・課題	関連性	
前年度 3月まで	1	・年度末反省 【校内研究結果の共有と次年度の取組み】	全校職員	A	Ref	○年度で途切れないスムーズな移行が図れた。4月からの教職員が変わってもすぐにスタートできるようになった。 ●この時点ではカリキュラムマネジメントの話はできていなかった。	同意形成 1,3,6,40,41,42,43
	2	・打ち合わせ【学校長のビジョンと市教委のビジョンの共有「3年後をイメージ」】	学校長、市教委	A	An	○学校長のプランと市教委のねらいが共有できた。	事前打合せ 2,4,5,12,29,44
	3	・研究紀要の作成と配布	全教職員	A	Act	○研究の取組み成果と課題を転任者にも4月に周知できている。	同意形成 1,3,6,40,41,42,43
春休み中	4	・打ち合わせ（目標と取組概要の共有）	校長、担当者、市教委	P	An	○担当者の役割を明確にできた。 ●具体策のイメージは持てなかった。	事前打合せ 2,4,5,12,29,44
	5	・作戦会議（めざす子ども像の見直し、国語科を中心とした教科横断的な取組みにつなげるために、校内研究の方向性を共有）	校長、担当者、学担、市教委	P	An	○学校全体の取組みとなるように研究部長と担当者が同輪となり、役割分担ができた。 ●校内研究とカリマネの位置づけが難しかった	事前打合せ 2,4,5,12,29,44
4	6	・学校経営方針（ビジョンの共有）	全教職員	P	Act	○今年度の学校目標、めざす子ども像と研究方針を共有	同意形成 1,3,6,40,41,42,43
	7	・年間指導計画作成	各学年教職員	P	Act	○年間指導計画を立てた ●昨年度の踏襲になりがち	指導計画見直し 7,8
	8	・分類表作成と取組の実施 ・教科横断的な計画表（1学期分）を作成	全教職員 全学年	D	Act	○教育活動全体で「説明力、理由力、感想力」を意識した指導につながった。	指導計画見直し 7,8
	9	・通信①「カリマネってなんだ」	全教職員	A	Act	○担当者から教職員にわかりやすい説明ができた。 ●取組み具体はまだ見えにくい	研修・通信 9,16,20,22,31,32,36,38,45
	10	・全国標準学力検査	4～6年生児童	C	Ref	○これまでの成果を図る	定量的評価 10,11,18,19,24,25
5	11	・全国学力学習状況調査、すくすくウォッチ	5、6年生	C	Ref	○これまでの成果を図る	定量的評価 10,11,18,19,24,25
	12	・打ち合わせ（めざす子ども像から、今年度の指標とする具体的な子どもの姿を引き出すための方策を共有【しかけシート等の検討】）	校長、担当者、市教委	P	An	○校内研で全教職員にわかりやすい提案ができるよう意識できた。 ●具体的な子どもの姿の共有が難しいことが分かった	事前打合せ 2,4,5,12,29,44
	13	・児童アンケート前期（市、学校）	4～6年生児童	C	Act	●学校独自のアンケートでは大きな変化が見られず、見直しが必要だと感じた。	定性的評価 13,14,15,34,35,37,39
	14	・教職員アンケート前期（市）	教職員	C	Act	○現状値の把握、昨年度からの変容をつかむ	定性的評価 13,14,15,34,35,37,39
	15	・カリマネアンケート前期	全教職員	C	Ref	○教職員の取組み指標が取れた。	定性的評価 13,14,15,34,35,37,39

# カリキュラム・マネジメント Q&Aインデックス

カリキュラム・マネジメント調査研究校が実践を進めるにあたって、苦労したことや実感したことについて、Q&A形式で質問にお答えします。

それぞれのQ&Aで触られている取組み内容の詳細については、第2章に示されていますので、該当する学校のページをご覧くださいとより理解が深まると思いますので、是非ご活用ください。



©2014 大阪府もずやん



- カリキュラム・マネジメントに取り組むにあたって、まず何から始めたらよいのでしょうか？
- カリキュラム・マネジメントの「3つの側面」は、いきなり全て取り組んだほうがよいのでしょうか？



・本校ではまず、児童の実態を把握し、学校教育目標やめざす子ども像をベースに児童につけたい力を絞り込むことから始めました。つけたい力が決まった後、その力をつけるために、各教科でどんな学習活動を行うか、どの学習をつなげるかを考えながら、年間計画を決定していきました。

(枚方市立招提小学校)

・まず、児童の様子をみたり、アンケートをとったりすることで児童の現状をつかみました。また、校内研修を行い、KJ法を活用して意見を出し合い、教員全体で、今までの取組みや児童の課題を共有し、方向性を確認しました。

(熊取町立西小学校)



・学校の状況に合わせて、まずは、いずれかの側面に焦点をあてて取組みを進めていくのが効果的かと思われます。焦点化することで、教員間の共通理解が図りやすく、具体的な取組みを計画・実施することができるからです。

(四條畷市立忍ヶ丘小学校)



単元まとめテスト等を採点・分析したり、児童生徒アンケートの結果から課題を見取ったりして、データに基づいて客観的に実態を把握することから始めてみましょう。



学校全体でカリキュラム・マネジメントの取組みを進めるためにはどうすればよいのでしょうか？

学校にカリキュラム・マネジメントを定着させるためのポイントは何ですか？



DO 全職員による事前研の実施

- ねらい
  - ・単元の内容を共有する。
  - ・「つきたい力」を共有する。
  - ・「つきたい力」を付けるための手だてを共有する。



「教材の魅力」や「授業を視る視点」の共有



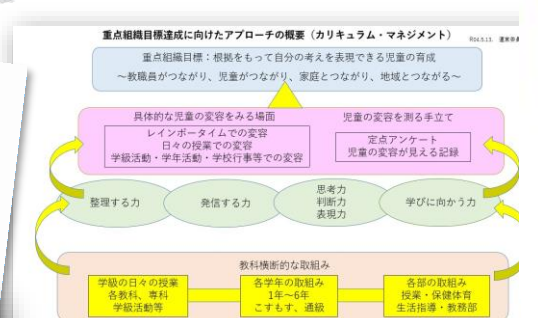
・本校では、まず1つの学年で集中的に取り組むことから始めました。カリキュラム・マネジメントを進め、生徒の学びをコーディネートしたことで、子どもの様子に変化しました。その学びの変容を見取り、校内へ発信したことで、カリキュラム・マネジメントの必要性が学校全体に広がりました。また、学校として生徒がつけるべき力を明確に定めることも有効でした。（枚方市立第一中学校）

・単元を通じて子どもにつきたい力と、そのための手だてを全教員が参加する事前研で共有するとともに、取組みの成果や課題、現在の取組みのようすを、研修通信を発行して共有することで、方向性や取組みを学校全体に広げました。

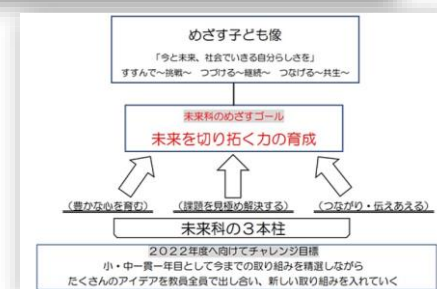
（和泉市立信太小学校）

・カリキュラム・マネジメントは特別なものではなく、学校で行われている教育活動を点検評価し改善を図っていく日常的な取組みそのものです。様々な場面で大小のPDCAを組織的・計画的に回していくことで子どもの育ちが可視化され、共有できることを全教職員が共通理解することが大切です。（富田林市立小金台小学校）

・まずは全職員を「つなげる」ことから始めました。学校内には、学年団という組織だけでなく各部会や各種組織が存在します。まずは教職員同士をつなげるため、校内研究テーマに向かってそれぞれの組織（チーム）が取り組むべき目標や実践内容を細かく設定しました。一人ひとりの教員が「自分ごと」として本校のカリマネプランに参加することができるよう、校内研究授業の事後検討会を工夫したり、それぞれの組織の実践を交流したりしました。（忠岡町立東忠岡小学校）



管理職や研究主任だけがマネジメントを進めるのではなく、チーム学校として、学校に関わる全ての人で取り組んでいきましょう。管理職や研究主任のリーダーシップのもと、担任・担任外・支援担・専科教員・事務職員等の区別なく、全ての教職員、スタッフが、めざすべき子どもの姿の実現に向けて、教育活動をマネジメントしていきましょう。





カリマネ表（単元配列表）を作ることのメリットは何ですか？

関連のある内容で単元をつないではいるのですが、成果が感じられないのはなぜでしょうか？



会議室に常時掲示しているので、いつでも気付いた時に、つながりを記入できる工夫も！（四條畷市立忍ヶ丘小学校）



学校の教育計画を俯瞰的に見ることができ、教科の系統性や他教科とのつながり、他学年とのつながりを意識し、学習内容と関連づけて指導できるようになりました。その結果、既習事項を活用したり、他教科の学びとつなげたりしながら、学びを深める子どもたちの姿が見られました。

（熊取町立西小学校）

関連する単元をつなげることだけが目的になってしまっていることも考えられたので、学校教育目標やめざす子ども像に迫るために、教科等の関連を生かすということを改めて確認し合いました。また、取組みの成果を明らかにするために、まずは取組みの評価規準や判断基準を具体化することから始めると効果的でした。

（摂津市立摂津小学校）



年間指導計画表に、教科等の関連を生かした指導の計画や、C評価の子どもへの手だてや改善点を記録し、次年度に引き継いでいくことも大切です。また、前年度の担当者と一緒に計画を立てたり、学期ごとに計画を見直したりするなど、校内研修の持ち方を工夫するとよいでしょう。





どのように教科等横断的に  
取組みを進めればいいですか？



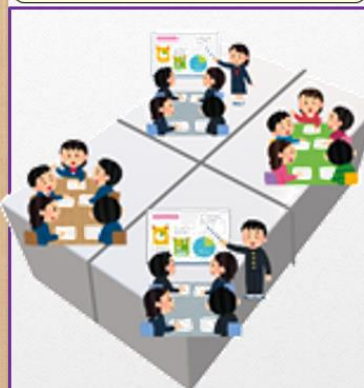
学校の教育目標やめざす子ども像を共有し、教科等の縦割りや学年の枠を超えて、学校全体で取組みを進められるように学校の組織及び運営について見直しを図ります。例えば、中学校では国語科の授業に数学科の教員も参加し、T・T体制を組みながら各教科の特性を生かした助言等を行うなど、教職員の協働体制を図ります。

つきたい力について、総合的な学習の時間のみで育成をめざすのではなく、それぞれの教科担当教員が教科の見方・考え方を働かせながら、各教科学習と総合的な学習の時間の取組みがつながることを意識しました（左図参照）。

（田尻町立中学校）

## 教科等横断的な視点について

### ①小グループでの企画検討



### ②各教科の視点から生徒へ指導

（2）数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う



（2）社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。

単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科	単元	教科
1	国語	2	国語	3	国語	4	国語	5	国語	6	国語	7	国語
1	数学	2	数学	3	数学	4	数学	5	数学	6	数学	7	数学
1	社会	2	社会	3	社会	4	社会	5	社会	6	社会	7	社会
1	技術	2	技術	3	技術	4	技術	5	技術	6	技術	7	技術
1	英語	2	英語	3	英語	4	英語	5	英語	6	英語	7	英語
1	音楽	2	音楽	3	音楽	4	音楽	5	音楽	6	音楽	7	音楽
1	体育	2	体育	3	体育	4	体育	5	体育	6	体育	7	体育
1	道徳	2	道徳	3	道徳	4	道徳	5	道徳	6	道徳	7	道徳
1	総合的な学習の時間	2	総合的な学習の時間	3	総合的な学習の時間	4	総合的な学習の時間	5	総合的な学習の時間	6	総合的な学習の時間	7	総合的な学習の時間

### 単元配列表の再構築

つながり部分を線で結ぶのではなく、色分けをして  
関連がぱっと見てわかるように工夫した例  
横軸が月ごと、縦軸が教科や領域、行事ごとに並んで  
います（忠岡町立東忠岡小学校）



PDCAのC (Check) 機能を向上させるために、  
どんなことを行いましたか？

PDCAサイクルの定着のために、  
どんなことを行いましたか？



・校内研究授業後の討議会において、ゴールを明確にし、授業で見取った子どもたちの姿をもとに討議するようにしました。また、つきたい力が子どもたちについたかどうか見取るために、単元末アンケートや力だめし問題等を実施し、check (検証)を行いました。(和泉市立北池田小学校)

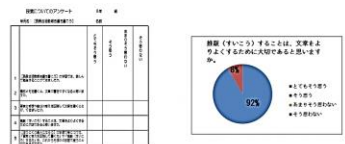
・PDCAサイクルを実施するスパンをなるべく短くするため、一年間を四つの期間に分けて、その都度学年や部会ごとにPDCAを行う仕組みを作りました。Checkを実施するタイミングが多いほど実践の見直しが活発になり、次の期間に設定すべき目標が明確になりました。(忠岡町立東忠岡小学校)



真に必要な評価項目・指標を  
精選して設定するなど、重点化を  
図り評価をしていくことも大切です。  
網羅的で項目数の多い指標は、  
単なる数値の羅列になりがちです。  
“評価のための評価”になってし  
まっていますか？

### Check機能の向上のために

- ・研究授業単元末 アンケートの作成・実施
- ・研究授業単元末 評価問題の作成・実施
- ・市作成力だめし問題の実施



### つきたい力を子どもの姿を通して見取る

1	...	...
2	...	...
3	...	...
4	...	...
5	...	...
6	...	...
7	...	...
8	...	...
9	...	...
10	...	...

**A 6年** 自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。

自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。	自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。	自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。
自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。	自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。	自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。
自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。	自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。	自分の考えを表現する際、根拠を示すことができるか。

**B 3年** 思考ツールは、根拠を持つこと、考えを表現することに対して有効か。

成果	疑問	課題	改善策
成果	疑問	課題	改善策
成果	疑問	課題	改善策

各グループの付箋を整理し、「学校全体で取り組むべき内容」を確認することで、明日からの取組みにすぐ取り入れられる



地域人材を有効に活用するには、どのように連携したらよいのでしょうか？



まずは、「地域を知ること」からです。地域の人的・物的資源をどのように捉え、把握し、つながっていくのがカギになります。子どもたちが地域の方々と出会い、自然・文化・環境等にふれ合い、そのために必要な教育の内容等を、教科等横断的な視点で組み立ててきました。

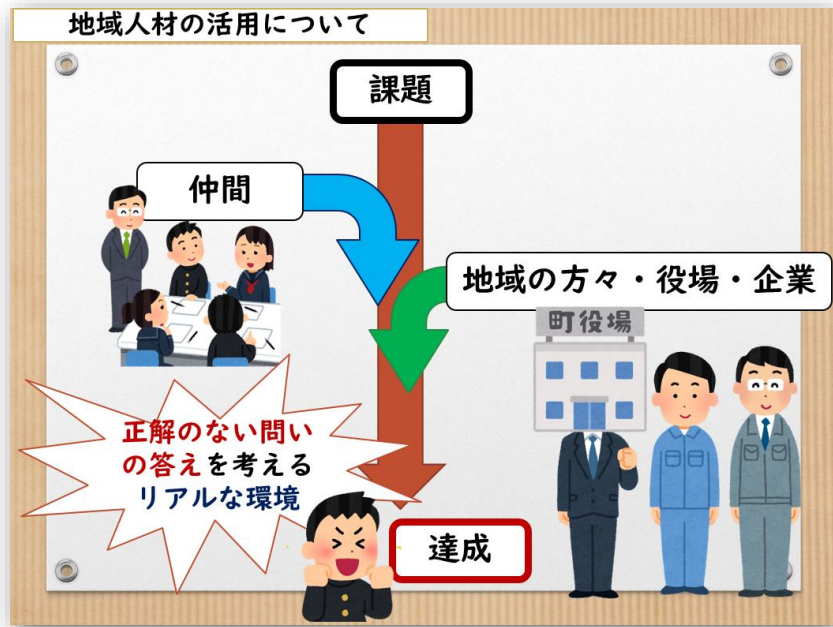
また、地域の方々との普段のお付き合いから新たな発見があります。発見の中から魅力的な取組みが生まれます。地域の方々は「子どもたちのために何かしてあげたい」と思っています。そのためには、学校も地域に情報発信をしていくことが大切です。

大学・企業・行政などにつながるチャンスもあります。日頃から、子どもたちのために学習できる環境はないかとアンテナを張って、積極的に求めていくことが大切です。「子どもたちにこんな力をつけたい！」という思いを共有して、めざす子ども像と一緒に考えて進めていくことで、効果的な連携につながっています。

(岬町立深日小学校)



学校の「思い」が強すぎて、地域・保護者のニーズに合っていない…ということはありませんか？ 地域・保護者の願いをふまえた「めざす子ども像」をみんなで共有しながら、カリキュラム・マネジメントの実現を図ることが大切です。



子どもたちが他者と協働しながら取組みを進められるよう、町教育委員会の指導主事が、子どもたちの意識している課題解決に適した役場の課や地域人材を紹介し、より活発に議論ができるようコーディネートを行いました(田尻町立中学校)



カリキュラム・マネジメントに  
取り組んでよかったことは？

カリキュラム・マネジメントは、学校全体で

## 「子どもの学び」を中心に マネジメントすること

がポイント！



・P D C Aサイクルを確立し、校内研究体制の充実を図ることで、教員が子どもたちの姿を通して校内研究の意義や効果を実感できたことです。その結果、全ての学級で授業改善の視点に基づいた授業を積み重ねていくことができるようになりました。

・教職員全体で課題を共有することにより、取組み等の改善を図るためのコミュニケーションが増え、協力して歩んでいくことができるようになったことです。学習指導においても、他の教科等とのつながりを意識して、効果的に取り組めるようになりました。

・教職員同士のつながりだけでなく、児童とのつながり、家庭や地域とのつながりが教育効果に直結することが感じられました。ICTの活用で悩んだり、学年の取組みで思うように成果が見られなかったりする場面では、教職員の知恵を出し合って課題を解決し、実践交流を活発に行う機会が増えました。教職員のチームワークがより強くなることで、児童へのプラスの効果も生まれました。



# 第2章 カリキュラム・マネジメントの 実現に向けた実践事例と その工夫について

カリキュラム・マネジメントの3つの側面を通して、  
教育活動の質の向上を図ろう

## 「カリキュラム・マネジメント」の3つの側面

- ①教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を  
教科等横断的な視点で組み立てていくこと  
➔ 富田林市立小金台小学校
- ②教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと  
➔ 四條畷市立忍ヶ丘小学校  
忠岡町立東忠岡小学校
- ③教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保  
するとともにその改善を図っていくこと  
➔ 田尻町立中学校



第2章では、左記①～③の側面に沿って実践された取り組みを、  
調査研究校ごとにまとめています。  
各校の実態や課題に合った取り組みを参考にして、カリキュラム・  
マネジメントの実現を図りましょう。

### <留意点>

- 本文中の二次元コードより、各種資料がダウンロードできます。  
各校の実態に合わせて加工しても構いませんが、学校HPに掲載する等、データの再配布はしないでください。
- 各校において、本章に掲載された資料を活用いただく際に、資料を作成した当該校に問い合わせをしたり、使用許諾を求めたりする必要はありません。